



TITLE:

# 水工系技術職員の業務の紹介

AUTHOR(S):

小森, 直人

---

CITATION:

小森, 直人. 水工系技術職員の業務の紹介. 京都大学工学研究科技術部報告集 2015, 12: 36-36

ISSUE DATE:

2015-05

URL:

<https://doi.org/10.14989/198321>

RIGHT:

# 水工系技術職員の業務の紹介

## 総合建設技術室

小森直人

### 1. はじめに

水工系技術職員が担当している業務を紹介する。私が担当している業務は大きく分類して三つに分かれる。

### 2. 業務内容

#### 2.1 実験室管理

実験室および実験室内の実験装置の管理、保守である。実験室は桂と吉田の両方にあり、桂では研究室での実験にて使用する実験設備や実験室の管理をしている。また、吉田では学部生対象の「水理実験」の演習授業にて使用している設備および装置の管理を行っている。

#### 2.2 実験支援

主に桂キャンパスにおいて、学生が行う実験作業の一部を補助している。例えば勾配の高い水路に水を流すと転波列という波が発生する。この転波列を実験水路において発生させ、その周期からどの周波数が卓越していくかといった解析に取り組んでいる。また、今後は実際の河川の微地形の計測データから実験用模型の製作をしていくといった業務も増えていくと思われる。

#### 2.3 実験装置製作

学生実験や研究室での実験にて使用する実験装置の製作を行っている。実験で使用する装置は一般的に製品として売られているものは少なく、注文発注や自ら製作するということが必要となる。注文発注を行うと費用が必要となり研究費の圧迫につながるので、可能であれば樹脂などの材料から工作機械などを使用して製作している。自身で所有している工作機械は乏しく、桂ものづくり工房に通い、工作機械を駆使して製作している。

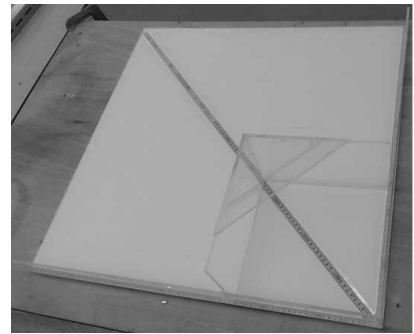


図1：ダム破壊モデル工作品

### 3. おわりに

今後も継続的に実験装置を製作して工作技術を高め、またものづくり工房に設置されている工作機械を使いこなせるようになり高度で精度の高い実験装置を製作していきたい。